

下田南地区振興会だより 会報 小田床

■発行 第31号■
【発行責任者】
下田南地区振興会
会長 中村敬司
【連絡先】
下田南地区コミュニティセンター
42-3612



9月8日(日)、下田南地区コミュニティセンターで、椎木支所長をはじめ、ご来賓の方々ご臨席のもと、下田南地区敬老会を開催しました。皆さま、今年もお元気で敬老会を迎えられ、誠にめでたいと思います。今年は、46名の方にご出席いただきました。椎木支所長、古賀議員のご祝辞の後、中村敬司振興会長か

下田南地区敬老会



↑里紗ちゃんの凜とした着物姿。舞踊にも魅了されました！

ら記念品贈呈、敬老者を代表して濱崎一芳さんのお礼のご挨拶と、肅々と執り行いました。
小学校の統合があり、児童そろうっての発表会はありませんでした。が、風食会後は、宇土安孝さんの名司会の進行で余興を行いました。
石松里紗ちゃん、千紗ちゃん姉妹の坂東流日本舞踊を披露して頂きました。おしとやかにとても上手で素晴らしいです。中上初穂さんの着物姿が良く似合っていました。村原ご夫妻の息の合ったマジ



↑成功あり、失敗ありで会場を沸かせた高浜在住の村原さんご夫妻。得意のマジックをご披露いただきました。



↑着物とカツラ姿が似合った中上初穂さん。会場を爆笑のうず！誌面左上の皆さんの笑顔…理由、わかりますよね(´▽`)

ックショー、プロ顔負けのテクニクに見入ってしまいました。白石謙二さん一家の水戸黄門、白石宣子さん演出のもと、宇土安孝(安孝さん)と昭和36年度南小卒業生たちが繰り広げたコミモト仲間の寸劇、歌も劇も涙あり笑いありで楽しめたのではないのでしょうか。橋本ひでみさんの小田床相撲甚句、懐かしく思われた方も沢山いらっしやっただこ



↑大人の雰囲気漂う、千紗さんの舞踊。堂々とした踊りで皆さんを楽しませました。

とでしよう。最後は美女6人衆(上野幸子さん、濱崎登美子さん、佃恵美子さん、行合りつ子さん、上野京子さん、白石宣子さん)による牛深ハイヤ、切れの良い踊りで、最後を賑やかに締めいただきました。笑うことはいいですね。これからものんびりと、日々感謝しながら過ごしていきたいと思います。そしてまた来年、お元気で会いしましょう。
最後になりましたが、会場の設営、お花の飾り、後片付け等、スタッフの皆さまお疲れ様でした。誠に有難うございました。

【総務部会長 中村昭廣】



↑橋本さんに絡んでいるのはみんなのアイドル宇土安孝さん！盛り上げ役として活躍しました！



↑相撲甚句でお馴染み、橋本さんからは、敬老者へのありがたい甚句と、小田床相撲甚句を詠んでいただきました。

↓客席真ん中の花道を歩くのは、皆さまご存じ
南の水戸黄門ご一行様です!



黄門様に牛深ハイヤで盛り上がる!

→オオトリを飾ったのは、よかおなご6人集!(名前は前ページ掲載)文句はつけません。踊っているのは紛れもない小田床の美熟女たちです(^)牛深ハイヤで締めました!



↑今年も昭和36年度南小卒業生の寸劇に、白石謙二さんの「ああ人生に涙あり」が光ります。峠茶屋も饅頭も手作りし、笑いの渦を作りました!中村昭廣さんと「よたへえ」こと宇土安孝さんの夫婦コンビも◎

第46回 下田南地区球技大会アルバム

10月14日(月/体育の日)、下田南運動広場で球技大会(グラウンドゴルフ大会)を開催しました。鬼海区20名、佃浜区26名、中央区42名、計88名もの参加者が、技を競いました。

天気にも恵まれ、目的とした地区民の健康と融和が図られた大会となりました。



大会結果 (Aコート8ホール・Bコート8ホール)

- 優勝: 下田南中央区 平均打数 (47.52)
- 準優勝: 佃浜区 // (48.50)
- 三位: 鬼海区 // (49.95)

ホールイン賞: 鬼海愛子、尾崎軍勇...各2回

西岡清、坂口かよ子、濱崎一芳、藪本房雄、西山博之、佃梅子、白石宣子、上野美代子、長尾稻香、中村敬司、上野和生、中村政司、中村ミツエ、白石満寿子、中村福廣、中上和広...各1回

※敬称略



MVP賞 : 男...尾崎軍勇 (37打)
女...鬼海愛子 (36打)

ニアピン賞: 男...西岡清 (28cm)
女...中上留里子 (96cm)

小田床天満宮例大祭開催される!

10月20日(日)小田床天満宮例大祭が行われました。台風の影響により、天候が心配されましたが、皆の願いが届き、一日中穏やかな空模様となりました。朝10時半から神事が始まり、11時にお下り、御飯屋での一連の奉納踊りの後は、お楽しみのお弁当タイムがあつて、午後2時からはお上りと、滞りなく進められました。

今年も小学校の閉校により、子ども神輿が姿を消し、「わっしょいー!」の声も聞こえませんが、高齢化、人口の減少とも相まって、見物人も年ごとになくなっていきます。このような現状ではありますが、面白い話題もありました。まず一番にあげたいのは、中高生を含む10代の活躍です。六尺組の大人に交じり、神輿を担いだ石松亮君、行列の鳥毛を振った宇土龍之介君、佃賢弥君、更に小太鼓を打った白石末夢可さん、この4人の参加で大いに盛り上がったのは



見物された皆さんもご承知の通りでしょう。次にあげるのは、帰省者の参加です。中には毎年参加していただいている顔もあり、祭りの朝まで人数確認に頭を悩ませていた氏子総代さんたちにとっても、このことは大変嬉しかったことだろうと思います。

祭りの最後盤になると益々活気づきます。神輿が神社に帰ってきからが見ものです。神輿は勇ましく拝殿の周りを駆け巡り、「やんやんやんやん!」の掛け声と、「危なか危なか!」の怒号が交差します。これは六尺組がらぎっているのではなく、「神輿がぶり」と言っている、神様を喜ばせるために行われるものです。今年の神輿も、神様もさぞ満足されたことだろうと思います。行列は二列に整列して拝殿を三周し、中央では太鼓踊りが奉納され、毎年飛び入り客もあつて大変賑わいます。圧巻だったのは、60年ぶりに太鼓踊りを披露した若松正義さん。なんとねじり鉢巻でバチを持って登場。古希を過ぎた方とは思えない身の軽さで、これぞ小田床の太鼓踊りの真髄であると言わんばかりの貫禄に、若者たちはあっけにとられ、「うーん!そつとつ!」と長老たちがうなずく場面も。若松さんに、満面の笑顔で拍手喝采が贈られると、中には当時を思い出したのか、涙ぐむ人もいました。



長の力強い「しまい太鼓」で終わりを告げ、今年の祭りも厳粛ながらも、終始和やかな内に幕を閉じました。

伝統として後世に引き継いでいかなければならぬこの祭りも、帰省客が参加しやすい「土曜日開催」とのご意見もあります。しかしながら、仕事を休む若者たちが参加しやすいのは、確実に休みとなる日曜日だろうと思います。地域の人口が減少する中で、これまで以上に様々な方の意見を集約しながら、この伝統の祭りを開催しなればならない時期にきているのかも知れません。【白石雪子】

花いっぱい運動に取り組んでいます

戦後の荒廃の中で「社会を美しく・明るく・住みよく」をスローガンに、花を通じて人々の気持ちを豊かにするというのが願いを込めて、1952(昭和27)年に当時、長野県の小学校教員だった小松三夢氏が提唱して始まった「花いっぱい運動」事業：ここ下田南でも、生活環境部会の「花いっぱい事業」で植栽した芝桜が、今年の3月に、たくさん美しい花を咲かせました。

花は人々の心を和ませ穏やかにしてくれませす。振興会では、この芝桜を効率よく増やそうと、9月中旬頃からポットへの挿し芽作業を始めました。11月中旬頃に地植えし、来年再来年には下田南地区が満開の芝桜で彩られるよう頑張っています。

【中上初穂】



↑プランターからポットへ。挿し芽作業は地道な作業ですが、やがて、下田南を花いっぱいにしてくれるでしょう！春にたくさんのピンク色に囲まれることを願って…

今号の1枚



10月13日(日)のクリーン作戦休憩時、佃浜区で撮影されたもの。佃富代香さん(左)と椎木静子さん(右)です。ご高齢にも拘わらず、行事には、いつもご参加していただいております。有難うございます。

濱崎悠花さん日本一に輝く！

全国の水産高校食品系学科の生徒が、技術や知識を競う、第11回水産・海洋高等学校食品技能コンテストが7月、東京海洋大学で開催されました。コンテストは、水産食材に関連する知識を問う筆記と、調理や添加物の希釈濃度を測定する実技で競われ、荇洋高等学校3年の濱崎悠花さんが筆記1位、実技2位で総合優勝を勝ち取り日本一の栄冠に輝きました。濱崎さんの次の目標は食品製造業に就くことだそうです。濱崎さん頑張ってください！



写真提供：荇北町

【受賞名】文部科学大臣奨励賞 財団法人産業教育振興中央会長賞
全国水産高等学校長協会賞 大会創設者賞

小田床情報板

- 11月
 - 17日(日) …鬼海山の神祭
 - 23日(土)～24日(日) …文化協会・下田南合同文化祭
- 12月
 - 1日(日) …仙臺への設置
 - 8日(日) …中野山の神祭
- 天草市情報…
 - 11月 4日(月)文化の日(振替) …夕陽の日(天草ブルガータ)
 - 11月 6日(水) …市政懇談会(高浜2区)
 - 11月10日(日) …福連木子守唄まつり
 - 11月28日(木) 19:30～21:30 …日本の宝島「天草づくり講演会」(天草市民センター大ホール・入場無料)

旧下田南小跡地検討委員会

現在、振興会では本委員会を立ち上げ、その活用方法について協議しています。毎月のコストや人材等、課題は山積みですが、地域の宝である校舎を残すため、地域が活用しやすい館になるよう検討を重ねて参ります。

天草西海岸フェスタ仮称実行委員会

関東を中心に活躍されている音楽プロデューサーのヨシオカトシカズ氏が魅せられた「天草西海岸の魅力」を、地域興しイベントと音楽イベント(プロミュージシャンライブ等)を織り交ぜて実施する「天草西海岸フェスタ(仮称)」として、来年5月下旬の開催を目指し、内容等について検討しているところです。よりよいものができるよう、地域の皆さまのご協力をよろしくお願いします。

振興会からのお知らせ

★文化祭で実施する

バザー(物品)の募集について
「物置に眠っているものはありませんか? 食器類、衣類なんでも構いません!」今年も、文化祭でバザーを実施します。是非、振興会地域づくり部会の藪本哲子さんまでご連絡ください。お問い合わせは054-866633まで。
★レクリエーション大会の延期について
11月10日に計画しておりました、本大会は、次年度5月頃に開催を予定するようになります。

編集後記

◆海のおく近くに居を構える私にとって、毎年夏の終わりが秋にかけて気になるのが、台風の動向。特に今年は台風が多く、気の休まる暇がありません。こうしてる間も、強い台風が日本に向かって北上中…もう何年も天草には大きな台風が来てないのかもしれませんが、心配でなりません◆更に近年は温暖化が原因か、異常気象や信じられないような自然災害が頻発。こうなれば神頼み! ◆先日の小田床例大祭では、「大きな台風が来ませんように」との祈りを込めて神輿を担がせて頂いた次第でございます。

【生田達三】